

Title	第三章 産業界・行政体との密な連携による学生の育成
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」
Publication year	2021
Jtitle	リーディングプログラムの軌跡 (2020.) ,p.[45]- 62
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005003-00002021-0045

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

第三章

産業界・行政体との密な連携による学生の育成

- 3-1. メンター紹介
- 3-2. オムニバス講義（地方自治体における社会課題の提示）
- 3-3. 産学連携の新しい取り組み
- 3-4. 政策提言公聴会

3-1. メンター紹介

GPE（グループプロジェクト演習）メンター 2020 年度

	メンター名	所属（慶應義塾大学理工学部 訪問教授（非常勤））	
1	小杉 俊哉	合同会社 THS 経営組織研究所 代表社員	2016.4～
2	野本 和正	ソニー（株）デバイス & マテリアル研究開発本部 チーフ UI デバイスリサーチャー / 主幹技師	2017.4～
3	田中 徹	富士ゼロックス（株）スマートワークイノベーション事業本部 サイバーセキュリティ事業部 技術&ビジネス主幹	2017.10～
4	石川 晃	（株）日立製作所 研究開発グループ 技術戦略室 技術顧問	2018.4～
5	久木田 信哉	日本電気（株） 政策渉外部グローバル渉外室 主席主幹	2019.1～
6	牧野 司	NPO 法人 CeFIL 客員研究員 元株式会社東京海上研究所	2019.4～
7	近藤 宏二	鹿島建設（株） 技術研究所 プリンシパル・リサーチャー	2019.4～
8	本田 新九郎	西日本電信電話（株） ビジネスデザイン部 テックデザイン部門 部門長	2019.4～
9	阿部 克義	川崎市市民文化局 コミュニティ推進部長	2020.4～
10	高山 緑	慶應義塾大学理工学部 教授 ジェロントロジー・カウンセリング担当	2013.4～

GPE 過去のメンター

	メンター名	所属（慶應義塾大学理工学研究科 特任教授（非常勤））	
1	山崎 徹	富士ゼロックス（株）Industry Business Solution & Service 事業本部 技術&ビジネス主幹	2012.4～ 2017.9
2	高橋 雄一郎	特許業務法人 高橋・林アンドパートナーズ代表； 弁護士	2012.4～ 2017.3
3	本多 宏充	（株）共和エクシオ国際部門長	2012.4～ 2014.3
4	高橋 竜三	（株）東京海上日動 HRA シニアフェロー	2013.5～ 2016.3

過去のメンター

	メンター名	所属（慶應義塾大学理工学研究科 特任教授（非常勤））	
5	上田 理	ソニー（株）SGMO 管理室 チーフオープンアライアンスマネージャー	2012.4～ 2017.3
6	桂 晃洋	（株）日立製作所 総合教育センタ 日立総合技術研修所 所長	2012.4～ 2014.3
7	沢 真司	（株）日立製作所 総合教育センタ 日立総合技術研修所 所長	2014.7～ 2017.3
8	有吉 司	（株）日立製作所 総合教育センタ 日立総合技術研修所 所長	2017.4～ 2018.3
9	島崎 豊	丸紅（株） 執行役員 秘書部長 兼 広報部長	2012.4～ 2019.3
10	日森 敏泰	（株）NTT-ME 取締役 ネットワークサービス事業本部 事業運営部長	2014.4～ 2019.3
11	多賀谷 晴敏	元（株）東京海上研究所 常務取締役 研究所長	2016.4～ 2019.3
12	赤嶺 政巳	東芝リサーチコンサルティング（株） シニアフェロー	2016.4～ 2019.3
13	石川 繁樹	日本アイ・ビー・エム（株） 研究開発 アカデミック・アドボケート 担当	2012.4～ 2020.3
14	村瀬 賢芳	新日鐵住金（株） 参与（本社）内部統制・監査部長	2014.4～ 2020.3
15	太田 正隆	（株）JTB 総合研究所 コンサルティング事業部 主席研究員	2015.4～ 2020.3
16	鈴木 毅	川崎市総合企画局スマートシティ戦略室長	2012.4～ 2013.3
17	金子 督	川崎市総合企画局都市経営部長	2014.4～ 2015.3
18	袖山 洋一	川崎市総合企画局自治推進部長	2015.4～ 2016.3
19	石渡 伸幸	川崎市市民文化局コミュニティ推進部長	2016.4～ 2019.3
20	南 昭子	川崎市中原区 地域みまもり支援センター担当部長	2017.4～ 2018.3
21	阿部 浩二	川崎市市民文化局コミュニティ推進部長	2018.4～ 2019.3
22	中村 茂	川崎市市民文化局コミュニティ推進部長	2017.4～2018.3 2019.4～2020.3
23	Davisi Boontharm	明治大学 大学院理工学研究科 建築・都市デザイン 国際プロフェッショナルコース（兼 本学理工学研究科 特任准教授（非常勤））	2012.4～ 2018.3

メンター紹介



小杉 俊哉 (2016.4～現在)

合同会社 THS 経営組織研究所
代表社員

RA への期待

文理に亘る自身の専門分野の追求だけでなく、様々な分野を極め、活躍する教員やそれを追求する RA の仲間から学び、多角的な視座を持つ人材になって欲しい。また、絶えず社会の課題に目を向け、それを自分事化すること、そこから仮説、解決策を見出すことを身につけて欲しい。それ以上に、人と共感、協業できるコミュニケーション力、人間関係の構築力を身につけ、そして自身の人間力も磨き、日本のリーダーになって欲しいと願っている。

略歴

NEC、マッキンゼー、アップルなどを経て、独立。慶應義塾大学政策・メディア研究科准教授などを経て、THS 経営組織研究所代表。同大学理工学研究科特任教授。立命館大学客員教授。ふくおかフィナンシャルグループなど複数社で社外取締役。



メンター紹介



野本 和正 (2017.4～現在)

ソニー(株)

デバイス & マテリアル研究開発本部

チーフ UI デバイスリサーチャー / 主幹技師

RA への期待

近年の産業界リーダー人材の世界的な動向を見ると、30-40 代の若いリーダーの活躍が目立つ。RA のメンバーには、学問の専門性だけでなくリーディングプログラムを通じて身に着けた課題発見力、解決力、コミュニケーション力を活かして、(1) 今後の日本の産業界をリードし世界と戦える人材、(2) 日本に新たな新規事業を創出できる人材、そして (3) 新たな後進のリーダーを育成できる人材に育ててほしい。

略歴

博士(理学) 1991 年ソニー(株)入社後、主に半導体・ディスプレイデバイスの研究開発に従事。1998 年 米国マサチューセッツ工科大 客員研究員。2011 年よりディスプレイ開発部門 部門長を経て、現在、主幹技師 / チーフ UI デバイスリサーチャー。



メンター紹介



田中 徹 (2017.10～現在)

富士ゼロックス(株)

スマートワークイノベーション事業本部
サイバーセキュリティ事業部 技術&ビジネス主幹

RA への期待

超成熟社会になりつつある今こそ、より「人間らしく」考え、より「人間らしく」人の輪を作り、より「人間らしく」行動することに大きな価値が出てきます。過去に前例や正解を求めることが出来ないことを『真っ白で大きなキャンバスが与えられた』と捉え、ワクワクしながら、自由に、縦横無尽に動き回り、一つ一つの課題解決を図ってゆく、快活で自己効力感の高い個人に共に成長してゆきましょう！

略歴

1982年東北大学大学院工学研究科卒業、富士ゼロックス(株)入社。カラープリンターの研究開発、コンサルティング事業 / クラウド事業の立上げを担当。途中、米国東研究駐在員、米国西研究子会社運営に携わる。現在、技術&ビジネス主幹。



メンター紹介



石川 晃 (2018.4～現在)

(株)日立製作所
研究開発グループ
技術戦略室 技術顧問

RA への期待

グループ・プロジェクト演習の困難なテーマに挑戦することで、失敗も数多く経験するでしょう。しかし、多様な学問基盤を有する教員・メンター・学生は、皆さんの成功に向け全力でサポートします。このような貴重な経験を通じ、皆さんが幅広いパートナーと手を組み、信頼関係をつくり、問題を解決できる「知のプロフェッショナル」に育つことを期待しています。価値ある問題は世の中にたくさんあり、我々が解いてくれるのを待っています。

略歴

博士（工学）1982年（株）日立製作所 中央研究所入社後、主に半導体プロセス・磁気ディスク装置の研究開発に従事。1993年米国スタンフォード大客員研究員。現在、研究開発グループ技術戦略室 技術顧問。



メンター紹介



久木田 信哉 (2019.1 ~現在)

日本電気 (株)

政策渉外部グローバル渉外室 主席主幹

RA への期待

超成熟社会では、セーフティとプライバシーの関係、AI / ロボットと雇用の関係、スマート化による恩恵と費用負担の関係、など、相反する課題が多く、多面的な取り組みが求められる。それには、研究者 / 技術者が人々のことを思うこと、政策立案者が技術を理解すること、さらに、事業としての継続性を織り込むことが欠かせない。プログラムを通じて、幅広い知識 / 洞察 / 人脈を得て、新しい世代のリーダーとして育ててほしい。

略歴

1981 年東京大学工学部電子工学科卒業、日本電気 (株) 入社。通信から社会ソリューションまで、広く企画 / 開発に関わる。5 年間のアメリカ駐在を経て、現在は、エバンジェリストとして、世界各地で活動している。



メンター紹介



牧野 司 (2019.4～現在)

NPO 法人 CeFIL

客員研究員、元株式会社東京海上研究所

RA への期待

幾何級数的に進歩する技術により、温暖化、貧困、教育、食料などまだまだ課題は山積みですが、一方において、情報、資金、データ、人工知能、IoT デバイス、3D プリンタなど、個人が手軽に、非常に低コストで使えるリソースもかつてないほどのチャンスが個人に与えられています。ネットワーク上にはあらゆる情報が掲載され、人工知能モジュール、クラウドファンディング、超成熟社会になりつつある今こそ、より「人間らしく」これまでの常識にとらわれず、自分に枠をはめず、明るく楽しく、世界をより良いものにしていってください。

略歴

1981 年 慶応義塾大学経済学部卒業、東京海上火災保険(株)入社。主に IT 部門で社内の IT 化プロジェクトに従事。2018 年 12 月に定年退職するまでは、(株)東京海上研究所、東京海上日動火災保険 IT 企画部・業務企画部を兼務。現在は PLGS メンターの他、東京大学大学院非常勤講師、筑波大学大学院客員教授、EFMA シニア・アドバイザー等を務める。国内外での講演実績多数。シンギュラリティ大学・エグゼクティブ・プログラム (2016/7) 卒業。



メンター紹介



近藤 宏二 (2019.4～現在)

鹿島建設(株)

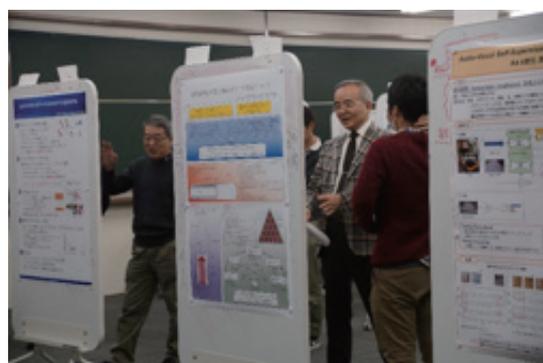
技術研究所 プリンシパル・リサーチャー

RA への期待

現代の急速に変化する社会において、専門的かつ複雑に絡み合った問題を解決するためには、優れた個々の力をチームとしてまとめ上げ、適切に導くリーダーシップが不可欠です。そのためには、複数の専門領域に明るく、しかも広い視野を持った π 型人材の育成が必要です。リーディングプログラムの場を活かして、皆さんを高いマネジメント力を持つ、優れた π 型人材のリーダーとして社会に送り出すべく、一緒に取り組みたいと思います。

略歴

博士(工学) 1981年京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。同年鹿島建設入社、武藤研究室で地震時の地盤と建物の動的相互作用の研究に従事。1987年技術研究所に異動し、耐風工学の研究に従事。現在、防災・減災の技術開発の取りまとめ役を務める。



メンター紹介



本田 新九郎 (2019.4～現在)

西日本電信電話 (株)

ビジネスデザイン部 テックデザイン部門 部門長

RA への期待

令和の時代になり、世の中は複雑化し変化は益々激しくなっています。変化に対応できたものだけが生き残るという話がありますが、それぞれの時代において求められるリーダー像も変化していきます。皆さんには次世代へ向けた変化を自ら起こすリーダー、そしてその時代に求められる新しいリーダーへと成長してもらいたいと思います。本プログラムでの経験がきっと役に立つと信じています。一緒に頑張っていきましょう。

略歴

1998 年慶応義塾大学理工学研究科博士課程修了後 NTT 入社。高臨場感通信、医療健康 ICT 分野等の研究開発に従事。NTT グループサンノゼオフィス駐在、NTT サービスエボリューション研究所 主幹研究員 グループリーダー等を経て、現職。



メンター紹介



阿部 克義 (2020.4～現在)

川崎市
市民文化局コミュニティ推進部長

略歴

- 昭和 62 年 入庁
多摩区役所諸税課勤務
- 平成 4 年 民生局南河原こども文化センター
- 平成 15 年 かわさき市民活動センター主任 (派遣)
- 平成 19 年 市民局人権・男女共同参画室主査
- 平成 28 年 こども未来局青少年支援室担当課長
- 平成 30 年 こども未来局総務部企画課長
- 令和 2 年 市民文化局コミュニティ推進部長



メンター紹介



高山 緑 (2013.4 ~現在)

慶應義塾大学

理工学部 教授

ジェロントロジー・カウンセリング担当

RA への期待

リーディング大学院プログラムでの活動を通じて、自身とは異なる分野を専門とする学生やメンター（企業、行政の方）、教員との日々の議論は、新しい世界への道を拓くだけでなく、皆さんの視野を広げ、新しい知の創造に確実に結びついていると感じています。使命をもち、自分がやるべきこと、やりたいことを常に認識しながら、より伸びやかに、より軽やかに、世界で活躍されることを期待しています。

略歴

慶應義塾大学文学部卒。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。武蔵工業大学（現、東京都市大学）専任講師、慶應義塾大学准教授等を経て現職。博士（教育学）、臨床心理士。



過去のメンター



3-2. オムニバス講義（地方自治における社会課題の提示）

2020年度 川崎市オムニバス講義

	講義日	講義テーマ	講師
第1回	10月10日	川崎市地域包括ケアシステムの構築に向けて	健康福祉局 地域包括ケア推進室 久保 真人
第2回	10月17日	中小企業の新事業創出支援 (川崎モデル)	経済労働局 イノベーション推進室 塩嶋 亮平 (公財) 産業振興財団 片桐 仁志
第3回	10月24日	障害相談支援体制の構築と 人材育成	健康福祉局 障害保健福祉部 障害計画課 横地 厚
第4回	11月14日	キングスカイフロントの拠点形成 ～力強い産業都市づくりを推進する ライフイノベーションの取組～	臨海部国際戦略本部 国際戦略推進部 苗倉 力
第5回	12月12日	生活保護の現状と 自立支援施策について	健康福祉局 生活保護・自立支援室 山崎 隆史
第6回	12月19日	「環境」と「経済」の調和と好 循環の実現を目指した地球温 暖化対策・エネルギーの取組	環境局 地球環境推進室 武川 治

3-3. 産学連携の新しい取り組み

共同研究型 社会課題解決プロジェクト

産業界や団体等との本格的な連携を通して、様々な領域の社会課題の解決策を提案するために、産業界等と共同研究／受託研究を積極的に進めています。文理融合に裏打ちされた知識や技術をもつ学生が、専門性を活かしつつ、若手ならではの独自の観点から解決策を生み出しています。

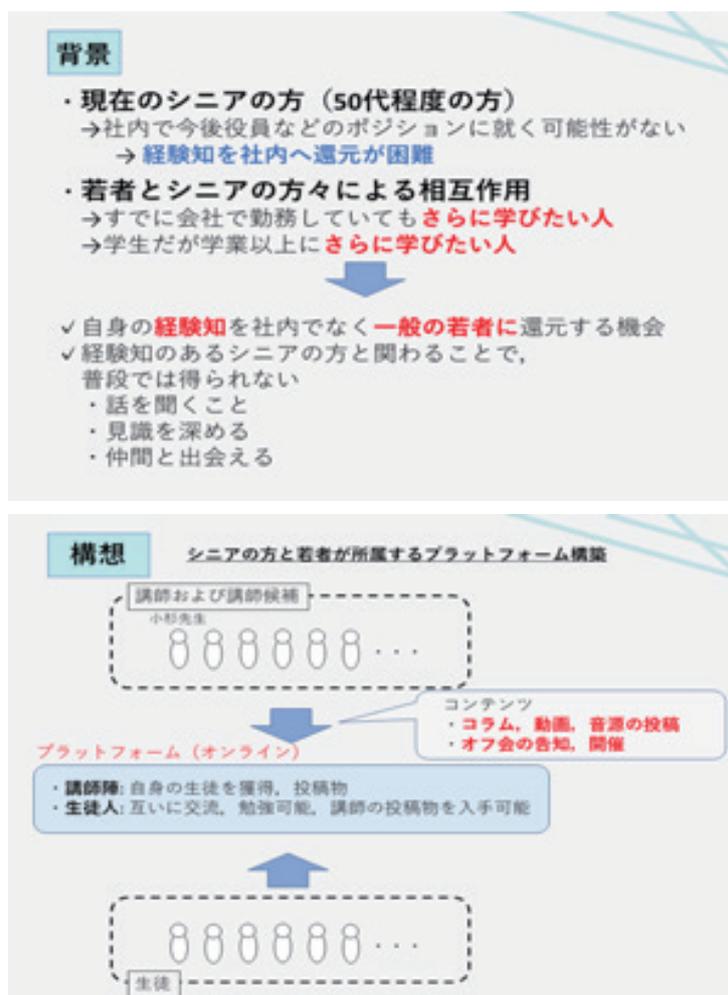
今年度実施された、主な民間受託研究プロジェクトを紹介します。

1. 「大人のゼミ」 オンラインコミュニティ創設

委託者： 合同会社 THS 経営組織研究所

メンバー： 中村 拓登、古志 飛、香西 孝司

概要： 会社で勤務していたシニアの方にはその人特有の豊富な経験知がある。その経験知を自分のコミュニティ以外で共有する場の先駆けを形成した。その際、メンターの小杉俊哉先生を軸にオンラインでのコミュニティ形成を行った。結果として、一般の方を多数巻き込んだ複数のコンテンツの実施ができた。



社会変革を目指す新たな潮流

エネルギーに満ちた若手が、5年間かけ完成させた提案

2021.2.18 (thu)

14:00 ~ 17:20

第5回政策提言公聴会

オンライン開催

社会課題解決プロジェクト発表 14:10 ~ 15:35

政策提言発表 15:50~16:58



社会変革を目指す新たな潮流

エネルギーに満ちた若手が、5年間かけ完成させた提案

SUPER DOCTORS



香西 孝司

理工学研究科 D2
修士 (工学)
修士 (商学)



角 晴美子

理工学研究科 D2
修士 (経済学)
修士 (工学)



水口 高翔

理工学研究科 D2
修士 (工学)
修士 (医科学)



黒部 聡亮

理工学研究科 D3
修士 (工学)

PROGRAM

オンライン開催

- 14:00 **開会挨拶**
プログラムコーディネーター
理工学部 教授 神成 文彦
- 14:05 **来賓挨拶**
文部科学省高等教育局 大学振興課大学改革推進室
室長補佐 高橋 浩太郎氏
- 14:10 **社会課題解決プロジェクト発表 5 件**
持ち時間 17 分
(12 分プレゼン+5 分質疑) × 5 件
休憩 15 分(15:35~15:50)
- 15:50 **政策提言発表**
持ち時間 17 分
(12 分プレゼン+5 分質疑) × 4 名
- 16:58 **講評と閉会挨拶(22 分)**
理工学部訪問教授・政策提言担当
永野 博
題字：福澤諭吉
- 17:20 **閉会**

参加を希望される方は、お名前とご所属先を明記の上、
下記リーディング事務局までご連絡ください。
開催が近づきましたら、接続先をメールにてご案内いたします。

お問合せ

慶應義塾大学 オールラウンド型 リーディングプログラム事務局

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1

mail : lua3-info@adst.keio.ac.jp web : <https://plgs.keio.ac.jp>